

J R 上総一ノ宮駅の高齢者・障害者の移動の
安全・快適・利便性の向上を求める要望書
(案)

一宮町バリアフリー協議会

貴社におかれましては、日頃より公共交通機関としてすべての利用者の「安全で快適な移動」に向けご尽力賜り感謝申し上げます。

近年、過去にない高齢社会に突入し、高齢化率は今後もさらに進むことが予想されております。

このような背景のもと、平成18年12月「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）が施行され、高齢者や障害者等が自立した日常生活および社会生活を円滑に行なえるよう、より配慮することが強く求められてきております。

その自立した生活を支援するためにも、安全かつ身体的負担の少ない移動方法で公共交通機関を積極的に利用できるような環境整備が、今後の重要な課題となってきました。

そこで、平成21年2月23日『一宮町バリアフリー協議会』を設置し、平成21年6月には町民参加による歩行体験で「バリアフリーを進める重点整備地区」（JR上総一ノ宮駅及び駅周辺生活道路）の実態調査を行ないました。

その結果、現状では高齢者や障害者等には十分とはいえない環境であり、迅速に対応しなければならない問題点や新たな課題が明らかになりました。

今後は町民の皆様のご意見も踏まえ、様々な施策を普遍的に講じていく必要があります。

貴社におかれましては、当地域の実情をご賢察頂き、以下の要望につきまして実現に向けた方策を執られますようお願い申し上げます。

《JR上総一ノ宮駅に関する要望事項》

1. 出入口の改善について

- (1) 駅西口正面の階段側面に障害者用スロープを設置すること。
- (2) 駅西口駅舎入り口の階段の段差を低くすること。
- (3) 駅前広場の横断歩道の拡幅、徐行設置（区画線）をすること。

2. トイレの改善について

- (1) 洋式・障害者用トイレを設置すること。
- (2) ベビーシートを設置すること。

3. 構内の改善について

- (1) ホームのベンチを増設すること。
- (2) 高齢者・障害者・妊婦用に、エレベーターの設置をすること。

4. 踏切の改善について

- (1) 神門踏切北側に横断歩道を設置すること。

以上

平成21年 9月 日

東日本旅客鉄道 株式会社

千葉支社長 梅原 康義 様

一宮町バリアフリー協議会

会長 可世木 博親